

ヒナコウモリ

Vespertilio superans Thomas

コウモリ目ヒナコウモリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

全国的にも分布している県が少なく、本県においても生息の確認場所が少ない。

国内分布

日本では北海道、本州（中国地方を除く）、四国、九州からの採集記録があるが、出産・哺育地として確認されているところは現在たいへん少ない。

県内分布

白山市白峰の別当出合の休憩舎の案内板で休んでいる雄雌各1頭と同市中宮で授乳中の雌1頭が確認されている。

生態

大木の多い地域では1年中集団で樹洞を昼間の隠れ家に使っているが、家屋や海蝕洞なども繁殖の場所として利用する。冬眠場所については知られていない。初夏に1～3仔、多くは2仔を雌親ばかり100頭を越える出産・哺育集団で出産する。授乳期間は約35日であり、出生仔は生後5～6週間でほぼ親と同じ大きさになる。雌雄ともに生まれた年の秋に交尾に参加するため、雌は満1歳で出産する。

生息地の条件

東北地方には多く観察されるが、他の地域では原生林などで数例確認されるのみである。

生存の危機

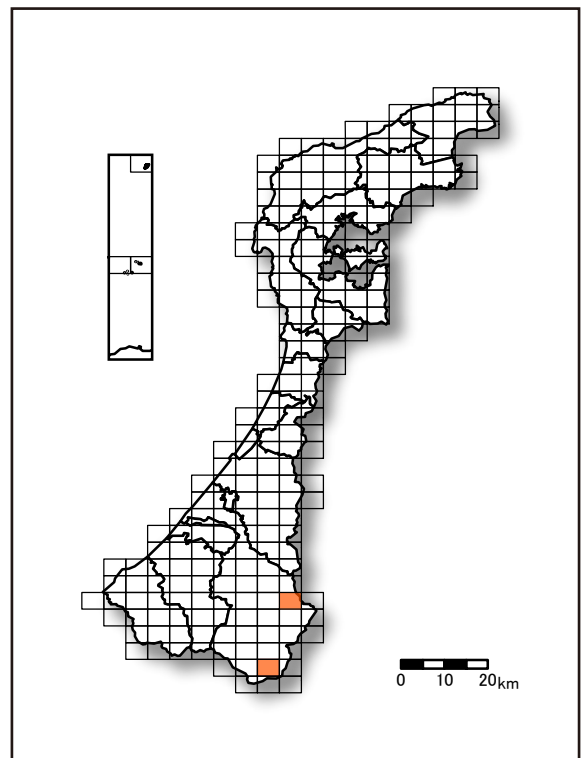
本来の生息場所は樹洞と考えられるが、家屋での生息が東北では多く確認されている。本来の生息場所の減少と考えられる。(A)

特記事項

県内で授乳中の個体が捕獲されたことより、白山地域で出産哺育を行っているものと考えられる。

参考文献

上馬康生・三原ゆかり 1995. 石川県内白山地域で捕獲されたヒナコウモリ, 石川県白山自然保護センター研究報告. 22:17-18.
山本輝正・上馬康生・野崎英吉 2005. 石川県白山地域のコウモリ相調査—1998年～2005年の調査結果より—, 石川県白山自然保護センター研究報告. 32:25-30.



県内の分布